



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



As-me ESTELLE

平成23年11月14日

上場会社名 As-meエステール株式会社  
コード番号 7872 URL <http://www.as-estelle.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 渡邊 正直

TEL 03-5777-5120

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,546	1.4	861	99.4	877	76.3	297	119.1
23年3月期第2四半期	13,360	1.9	431	—	497	—	135	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 181百万円 (81.9%) 23年3月期第2四半期 99百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	26.63	—
23年3月期第2四半期	12.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	30,135	9,526	31.6	853.88
23年3月期	30,141	9,523	31.6	853.62

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,526百万円 23年3月期 9,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,463	1.5	1,645	26.2	1,867	39.3	1,001	54.6	89.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	11,459,223 株	23年3月期	11,459,223 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	302,485 株	23年3月期	302,485 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	11,156,738 株	23年3月期2Q	11,165,842 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューを終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・回復過程にあり、企業の生産活動や消費は、企業の迅速な復旧活動や消費自粛ムードの解消などより震災前の水準まで回復いたしました。一方、欧州の財政危機や米国の景気減速懸念及びこれらを背景とした急速な円高などにより、景気先行きについては不透明感を深めました。

当社グループの当四半期累計期間における店舗展開としては、当社では8店舗を出店、5店舗を閉鎖し、当四半期末店舗数は377店舗（前年同期末379店舗）となり、メガネ小売のキンバレー(株)では4店舗を出店、4店舗を閉鎖し、40店舗（前年同期末39店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、東北・関東などの地域で既存店売上が前年を上回り、135億46百万円（前年同期比1.4%増）となりました。営業利益は、値引販売の抑制や本部経費の削減などにより8億61百万円（同99.4%増）となりました。経常利益は、有利子負債圧縮に伴い支払利息が減少したものの海外子会社で発生した為替差損が増加し、8億77百万円（同76.3%増）となり、四半期純利益は、固定資産の減損損失の増加と、法人税等の増加により2億97百万円（同119.1%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <宝飾品>

当第2四半期連結累計期間の宝飾品セグメントの売上高は、127億87百万円（前年同期比2.2%増）となり、営業利益は、8億55百万円（同125.1%増）となりました。

#### <眼鏡>

当第2四半期連結累計期間の眼鏡セグメントの売上高は、7億59百万円（同10.5%減）となり、営業利益は2百万円の損失（前年同期は42百万円の利益）となりました。

上記セグメントの業績の営業利益については、セグメント間取引消去前の金額を記載しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の38億74百万円より1億15百万円増加し、39億90百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは5億49百万円のプラス（前年同期は7億67百万円のプラス）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益5億86百万円、減損損失2億53百万円、減価償却費1億97百万円及び仕入債務の増加1億17百万円の資金増加と、売上債権の増加2億69百万円、負ののれん償却額1億80百万円及び法人税等の支払額1億67百万円の資金減少によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3億8百万円のマイナス（前年同期は41百万円のマイナス）となりました。これは主に敷金保証金の返還3億20百万円の収入と、固定資産の取得3億55百万円、敷金保証金の差入1億28百万円及び投資有価証券の取得1億3百万円の支出によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは1億23百万円のマイナス（前年同期は11億44百万円のマイナス）となりました。これは主に長期借入金の増加5億71百万円（純額）の収入と、社債の償還5億8百万円及び配当金の支払1億78百万円の支出によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想については、外部環境が不透明な状況にあることから、現時点では変更しておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,174	4,290
受取手形及び売掛金	1,808	2,077
商品及び製品	9,486	9,241
仕掛品	1,357	1,457
原材料及び貯蔵品	1,438	1,622
その他	898	760
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,162	19,448
固定資産		
有形固定資産	2,361	2,228
無形固定資産	402	460
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,274	5,065
その他	3,009	3,000
投資損失引当金	△56	△56
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	8,214	7,997
固定資産合計	10,978	10,686
資産合計	30,141	30,135
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,232	3,349
短期借入金	1,642	1,675
1年内返済予定の長期借入金	3,394	3,552
1年内償還予定の社債	868	660
未払法人税等	222	129
引当金	354	369
その他	1,212	1,244
流動負債合計	10,926	10,980
固定負債		
社債	580	280
長期借入金	6,169	6,583
退職給付引当金	1,282	1,312
役員退職慰労引当金	391	395
資産除去債務	39	51
負ののれん	1,015	834
その他	213	170
固定負債合計	9,690	9,628
負債合計	20,617	20,608

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	4,503	4,621
自己株式	△146	△146
株主資本合計	9,312	9,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	230
為替換算調整勘定	△105	△135
その他の包括利益累計額合計	210	95
純資産合計	9,523	9,526
負債純資産合計	30,141	30,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	13,360	13,546
売上原価	5,191	5,144
売上総利益	8,168	8,401
販売費及び一般管理費	7,736	7,540
営業利益	431	861
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	35	34
負ののれん償却額	180	180
その他	64	51
営業外収益合計	282	266
営業外費用		
支払利息	183	150
為替差損	2	73
その他	30	26
営業外費用合計	216	250
経常利益	497	877
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
固定資産売却益	0	—
受取補償金	—	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産除売却損	15	23
店舗閉鎖損失	2	5
減損損失	84	253
事務所移転費用	33	—
投資有価証券評価損	28	10
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19	—
特別損失合計	183	294
税金等調整前四半期純利益	315	586
法人税等	179	288
少数株主損益調整前四半期純利益	135	297
四半期純利益	135	297

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	135	297
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△7	△86
為替換算調整勘定	△28	△29
その他の包括利益合計	△35	△115
四半期包括利益	99	181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99	181
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	315	586
減価償却費	195	197
減損損失	84	253
負ののれん償却額	△180	△180
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	42	31
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	24	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	53	14
受取利息及び受取配当金	△36	△34
支払利息	183	150
投資有価証券評価損益 (△は益)	28	10
売上債権の増減額 (△は増加)	222	△269
たな卸資産の増減額 (△は増加)	499	△39
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,182	117
未払金の増減額 (△は減少)	△1,434	△72
その他	△139	61
小計	1,049	832
利息及び配当金の受取額	36	34
利息の支払額	△177	△148
法人税等の支払額	△140	△167
営業活動によるキャッシュ・フロー	767	549
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1	△103
固定資産の取得による支出	△214	△355
敷金及び保証金の差入による支出	△71	△128
敷金及び保証金の回収による収入	292	320
その他	△46	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41	△308
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,376	33
長期借入れによる収入	3,294	2,530
長期借入金の返済による支出	△2,341	△1,958
社債の償還による支出	△558	△508
割賦債務の返済による支出	△34	△29
リース債務の返済による支出	△13	△13
配当金の支払額	△111	△178
その他	△3	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,144	△123
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△419	115

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△0	—
現金及び現金同等物の期首残高	3,459	3,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,040	3,990

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,512	848	13,360	—	13,360
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,512	848	13,360	—	13,360
セグメント利益	380	42	423	8	431

(注) 1. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「宝飾品」セグメント及び「眼鏡」セグメントにおける店舗の設備等の固定資産について、それぞれ55百万円及び29百万円の減損損失を認識いたしました。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,787	759	13,546	—	13,546
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,787	759	13,546	—	13,546
セグメント利益又はセグメント損失(△)	855	△2	853	8	861

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分方法を一部変更したことに伴い、前第2四半期連結累計期間についても、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益の金額を表示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「宝飾品」セグメント及び「眼鏡」セグメントにおける遊休不動産及び店舗の設備等の固定資産について、それぞれ213百万円及び40百万円の減損損失を認識いたしました。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。